

平成三年度 修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- ・本集成は、平成三年度に、京都国立博物館文化財保存修理所において文化財の修復時に確認された銘文等（納入品を含む）を収めたものである。
- ・配列は、彫刻・絵画・工芸に分け、それぞれの銘文の年代順とし、年紀のないものを後にまとめた。
- ・銘文の解読は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則としたが、一部は「」により改行を示したものがあつた。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施行者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解読、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が、それ以外は岩田茂樹（当館文化財保存修理管理指導室客員研究員）がそれぞれ担当した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 釈迦如来坐像台座 辛巳年 奈良 法隆寺
 - 2 舞樂面 元暦二年・寿永二年・天文六年 奈良 春日大社
 - 3 釈迦如来坐像 建久六年 兵庫 慈眼寺
 - 4 釈迦如来坐像 建長二年 京都 龍源院
 - 5 観音・勢至菩薩立像 元亨三年 愛知 長隆寺
 - 6 狛犬 応安七年 広島 富士神社
 - 7 観音菩薩坐像 大永八年 京都 勝林院町
 - 8 千手観音立像 天正十五年・文化十一年 和歌山 道成寺
 - 9 阿弥陀如来坐像 慶長二年・享保十七年 愛知 専長寺
 - 10 薬師如来坐像 元禄十四年 滋賀 正福寺
 - 11 男神立像 無年紀 大阪 勝尾寺
 - 12 四天王立像(増長天) 無年紀 奈良 興福寺
 - 13 千手観音立像(五〇七、五一四号) 無年紀 京都 妙法院
- 絵画
- 14 東陽英朝像 寛永九年 岐阜 大仙寺
 - 15 毛利輝元像 天保十二年 山口 (財) 防府毛利報公会
- 工芸
- 16 厨子 正和五年 奈良 額安寺
 - 17 厨子 貞和元年・延文二年・貞治三年・永徳三年
・明応九年・永正十年 京都 妙立寺

彫刻

(下座下框上段左側補足材下面に天像と思われる墨画を描く)

1 釈迦如来坐像台座 (図1) 国宝

一基

奈良 法隆寺

木造彩色

台座総高

二〇八・〇

上座高

七五・〇

下座高

一〇六・八

①辛巳年(六二二)か ②(財)美術院 ③水野敬三郎「釈迦三尊像(金堂所在)台座」、『奈良六大寺大観』二、昭和四十三年、岩波書店、『奈良六大寺大観』一四「新補遺」、岩波書店、平成四年)、高田良信「釈迦三尊像の台座裏から発見された十二文字の墨書」、『伊珂留我』二二、平成二年) ④奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内

(上座鏡板右側内面墨書)

相見^(イ)巧^(ウ)陵面^(カ)樂識^(キ)心^(ク)陵了^(ケ)時者

(墨書の付近に鳥・魚の墨画を描く)

2 舞楽面(図2) 重要文化財

九面

奈良 春日大社
木造彩色 縦一八・七〜二七・〇

(下座下框上段左側補足材上面墨書)

留保分七段

書屋一段

尻官三段 御支 三段

(皇仁庭・裏面朱漆銘)

元暦二年^乙二月 日

(新島蘇・裏面朱漆銘)

仏師印勝

(同右側補足材下面墨書)

福費二段

興福寺

新島蘇

元暦二年^乙二月 日

(同右側補足材上面墨書)

辛巳年八月九日作^乙□□□□

(地久・裏面朱漆銘)

地久

元暦二年^乙二月^{月也}□□^{日也}

(同左側補足材下面墨書)

辛□

〔崑崙八仙・裏面朱漆銘〕

興福寺

崑崙八仙

〔新島蘇・裏面朱漆銘〕

興福寺

元曆二年乙二月 日

〔新島蘇・裏面朱漆銘〕

興福寺

新島蘇

元曆二年乙二月 日

〔新島蘇・裏面朱漆銘〕

興福寺

新島蘇

元曆二年乙二月 日

〔散手・裏面刻銘〕

以元興寺本模之

仏師定慶

寿永二年二月 日

〔貴徳鯉口・裏面刻銘〕

興福寺

天文六丁酉四月十九日

- ① 寿永二年（一一八三）・元曆二年（一一八五）・天文六年（一一五三七）
- ②（財）美術院
- ④ 奈良市春日野町御蓋山一六
- ⑤ 採桑老は修理を行わなかった。

3 釈迦如来坐像（図3） 重要文化財

木造漆箔 像高五一、八 兵庫 慈眼寺

〔像内背部墨書〕

仙阿弥陀仏 源阿弥陀仏 福
 得阿弥陀仏 観阿弥陀仏 □
 妙阿弥陀仏 仏阿弥陀仏 忍阿弥
 僧寛秀 伴近友 大江依□ 僧
 建久六年卯乙七月八日庚刀造立始
 願主沙弥生阿弥陀仏 川瀬氏法名観阿弥陀仏 成阿弥陀仏 仏
 智阿弥陀仏 恵阿弥陀仏 蔵人平家親 散阿弥陀仏 平力寿 同
 同薬王 正阿弥陀仏了阿弥陀仏 田中中知子 尺度袈裟丸 千代丸

金集是友 同国元 藤原重国 イソ上重国 藤原□
依羅貞永 紀貞延 中原貞成 陀阿弥陀仏 光阿弥陀仏 □
性阿弥陀仏 心阿弥陀仏 心阿弥陀仏 弁阿弥陀仏 □

見阿弥陀仏 恩阿弥陀仏
一阿弥陀仏 一阿弥陀仏
尊阿弥陀仏 苺野氏
成阿弥陀仏 宝阿弥陀仏

〔像内右腰脇部墨書〕

御方姉子 一阿弥陀仏

秦姉子

〔像内腹部墨書〕

中五冠者 □□
史部貞宗 □□
□□姉子 藤原□□

川姉子 北小路 伴貞行

橘姉子 曾祢姉子 藤原中知子

橘光利 藤原深清 同国長

義阿弥陀仏 福阿弥陀仏 阿部中知子

心阿弥陀仏 明阿弥陀仏 義阿弥陀仏

得阿弥陀仏 弥阿弥陀仏

明阿弥陀仏 生阿弥陀仏

尊阿弥陀仏 女阿弥陀仏

為阿弥陀仏 金阿弥陀仏

教阿弥陀仏 方阿弥陀仏
恩阿弥陀仏 性阿弥陀仏

〔像内左腰脇部墨書〕

得阿弥陀仏 恩阿弥陀仏
縁阿弥陀仏 得阿弥陀仏
觀阿弥陀仏 名阿弥陀仏
成阿弥陀仏 □阿弥陀仏

〔像内脚部墨書〕

尼惠阿弥陀仏 清原国利 藤原氏 同□□□ 清原重谷

同金剛 同鶴 同則俊 大石氏 尾張氏 同国行 同地藏 同全守

秦守我 同对寿 同国守 円兜

葛木国久 若草中知子 中太 清原国時 藤原中知子 僧相進 苺

野五子 藤原成時 同金剛 常澄姉子

希忍姿子 尾張毘叉文 同四郎丸 佐汰尺迦丸 □杖 弥对 菓

師丸 僧了任 清原地蔵

過去清原守利 尼舜妙 沙弥西舜 清原利道 紀氏尼 下野尼 笠

□中知子 清原秋貞 山口国元

同行元 同二郎冠者 同始子 同中知子 同二郎丸 貞弘此姉子

对寿 石法師丸 二郎丸 長与法師丸 尼君

僧大輪原 清原国延 源三子 藤原姉子 石尼

道阿弥陀仏

沙弥比丘尼

一阿弥陀仏

① 建久六年（一一九五） ②（財）美術院 ③ 神戸佳文「伊丹慈眼寺
釈迦如来坐像の胎内銘」〔『塵界』二、兵庫県立歴史博物館、平成二年〕 ④
伊丹市鴻池字村西四四

4 釈迦如来坐像（図4） 重要文化財

一 軀
京都 龍源院
木造漆箔 像高五一・八

〔像内脚部墨書〕

建長二年七月日造之
行心作

〔像内左体側部墨書〕

建長長長
長長長長長

〔光背裏面朱書〕

金龍
天保六乙未年九月
禪院 改古

① 建長二年（一一五〇）・天保六年（一八三五） ②（財）美術院 ④ 京
都市北区大徳寺町八二

5 観音・勢至菩薩立像（図5） 一宮市指定文化財

木造彩色 像高（観音）一七七・二（勢至）一七八・三
愛知 長隆寺

〔観音・像内前面墨書〕

（梵字五字） 当住持東寺末資金剛仏子比丘良充
（梵字五字）

信心大檀那沙弥承念 大介入道俗名長持
（梵字七字）

大仏師治部法橋良円 三条小納言法印常円子息

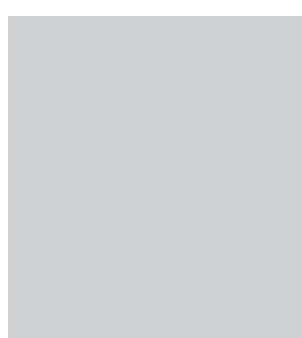
〔観音・像内背面墨書〕

（梵字五字） 敬奉 造立 観世音菩薩像一体
（梵字五字） 右志者奉為天長地久御願円満閑東御息災□命一天

（梵字五字） 四海安穩泰平殊者信心大檀那沙弥承念心中所願皆令満足
現世百年之榮花日益当来三仏之願望無疑者圓別者当寺
困願聖靈代々先亡等并一親聖靈亡息等出離生死証大菩提
乃至□□平等 利益也 元亨三年亥 十二月日 白敬

〔観音・首矧面前面墨書〕

仏師
伝左衛門
奉破損
□
者也



〔勢至・像内前面墨書〕

(梵字十五字)

〔勢至・像内背面墨書〕

敬奉 造立 大勢至菩薩像一休

(梵字五字)

(梵字五字)

(梵字五字)

(梵字五字)

(梵字五字)

(梵字五字)

右志者奉為天長地久御願円満閑東御息災延命一天四海安穩園平

國家泰平殊信心大檀那沙弥承念心中所願皆令満足現世百年之

榮花日益當來三仏之願望無疑者也別者當寺本願大檀那等代々先亡

聖靈并二親亡息等出離生死証大菩提乃至有頂雲上無間閻底同及

此功矣

元亨三年癸亥十二月日 金剛園子良充敬白

大檀那沙弥承念 大仏師良円

①元亨三年(一二三三)

島字丸宮三二一

②(財)美術院

④愛知県一宮市萩原町中

6 狛犬(図6)

広島県指定文化財

一対

木造彩色 像高(阿形)三五・一 (吽形)三三・七

広島 富士神社

〔阿形・像底墨書〕

応安七年

甲寅三月

願主

□^{氏名}尼祥念

〔吽形・像底墨書〕

□

□^{氏名}尼釋

①応安七年(一二三七)

朝三三八二

②(財)美術院

④広島県山県郡大朝町大

7 観音菩薩坐像

京都市指定文化財

一軀

木造漆箔 像高九二・〇

京都 勝林院町

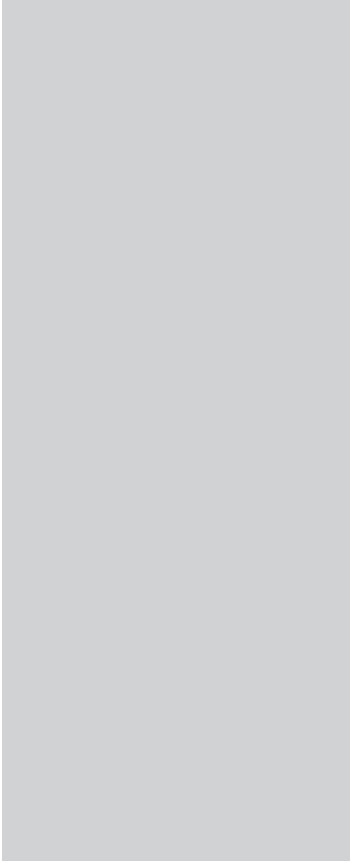
〔像内背面墨書〕

大永八年つちのこの四月廿七日し□ふく囀

堀川 判官寿法入道

□□人也

仏師□□囀□



①大永八年（一五二八） ②（財）美術院 ④京都府京都市左京区大原勝林院町

憲興

憲空

8 木造千手観音立像 重要文化財

一軀

素地 和歌山 道成寺
像高二九九・八

〔台座反花裏面墨書〕

蓮台

土_二生_二村

瀬戸賀右衛門

母さをり

奉寄付

施主

蘭下野

弁蔵

同木ノ

文化十一歳

皆 当寺現住法印忍海代

甲戌 十月日

〔背部墨書〕
武州多西郡

□□住人ます田惣七郎

天正十五_丁亥五月十八日

〔背面腰〜膝裏墨書・細字〕

本□

せい□やけん七郎□倉酒井武部衛門

開

五郎

七

五

開

巳

七

五

開

〔背面腰〜膝裏墨書・太字〕

ひたち国

矢部

七

五

開

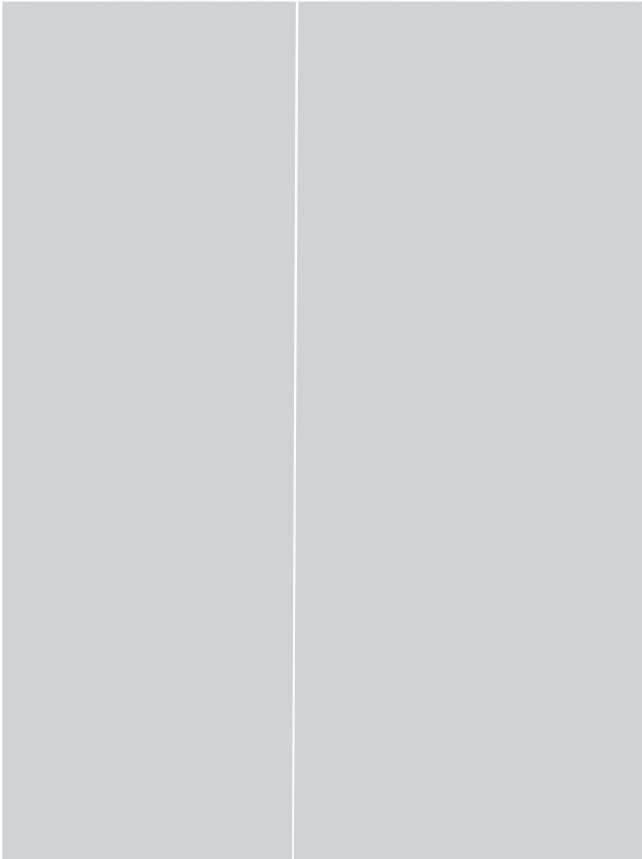
七

五

開

〔左膝横墨書〕

憲海



①天正十五年（一五八七）・文化十一年（二八一四）②（財）美術院
③田村寛康「道成寺本堂」第三章「木心乾漆千手観音立像」（『佛教藝
術』一九五、平成三年）④和歌山県日高郡川辺町大字鐘巻⑤台座銘
は修理銘。なお、本像は平成二年度修理終了。

9 阿弥陀如来坐像 重要文化財

一 軀

愛知 専長寺

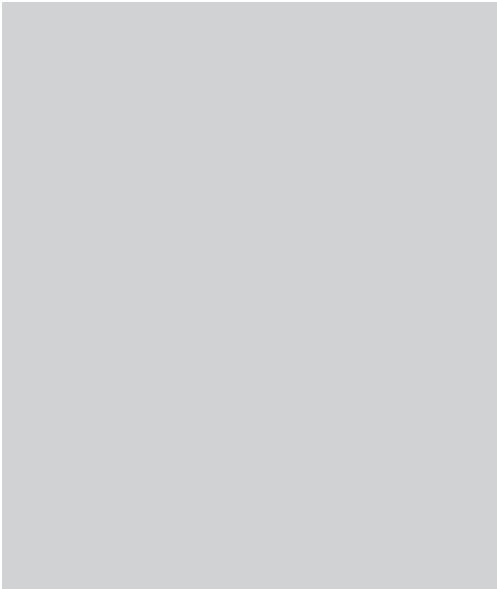
木造漆箔 像高一四四・五

〔台座蓮肉天板墨書〕

当住比丘貞増

慶長貳年十一月五日

奉造立畢

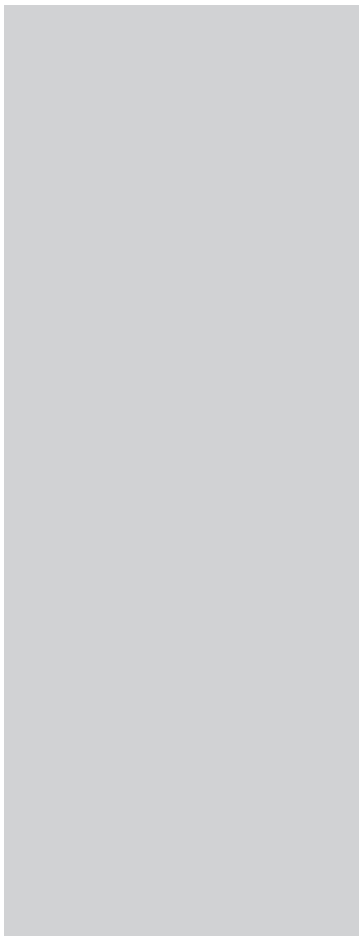


比丘貞桂
七条
康巖

〔銘札墨書〕

享保十七壬子夏忝承 鈞命募縁于清和源家諸侯鼎建於弥陀四天之本
堂茲撰州大坂住飯田久兵衛直好視台座後光之朽損投若干金使仏工運
長莊巖之仏日増輝靈威益彰凡瞻札者宜加勉敬庶幾家運悠長所求成弁
非啼現身感善果報抑且於畢世陀生仏果菩提必也無疑焉享保十九甲寅
年五月念五莫大通寺當住寺南谷敬誌

①慶長二年（一五九七）・享保十七年（一七三二）②（財）美術院④
愛知県幡豆郡吉良町大字吉田字齊藤久一〇〇⑤ともに修理銘。銘
札は、台座蓮肉天板裏面に打付。



10 薬師如来坐像 重要文化財

一 軀

滋賀 正福寺

木造漆箔 像高一四一・五

〔像内背面墨書〕

正福寺村住人

下村市左衛門

同 八右衛門

望月徳左衛門

同 八郎右衛門

元禄拾四歳^{辛巳}卯月十四日

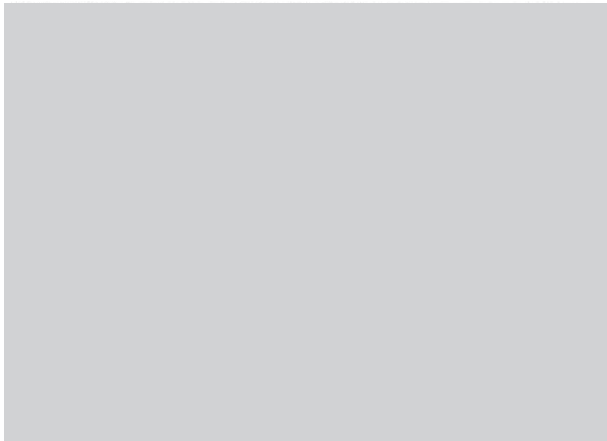
大仏師 神屋又助

満^志俊

水口^志

□ □

荒木八左衛門



- ①元禄十四年（一七〇二）
- ②（財）美術院
- ④滋賀県甲賀郡甲西町
- 大字正福寺四〇九
- ⑤修理銘。

11 男神立像 大阪府指定文化財

木造彩色 像高一〇二・三
大阪 勝尾寺 一 軀

〔背面臀部朱書〕

開成皇子

御作

- ②（財）美術院
- ④大阪府箕面市大字粟生間谷二八八五

12 四天王立像（増長天）（図7） 重要文化財 奈良 興福寺 一 軀

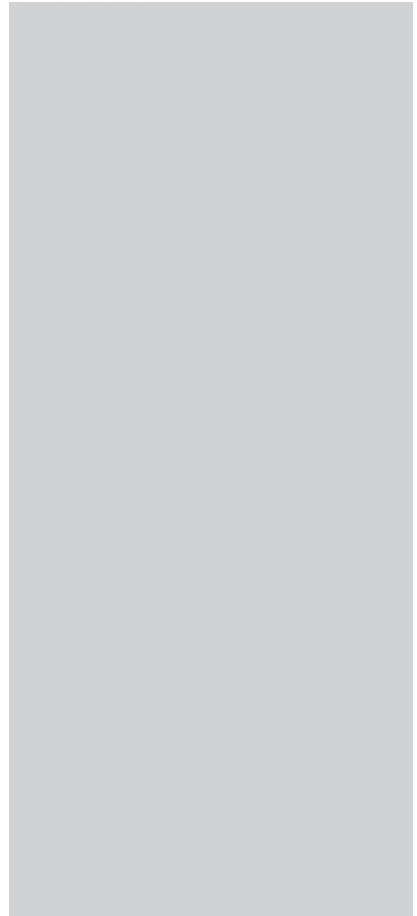
木造彩色 切金文様 像高二〇二・二

〔台座框天板上面刻銘〕

夕門天

（周辺に戯画あり）

- ②（財）美術院
- ③長谷川誠「四天王立像」〔奈良六大寺大観〕八 岩波書店、昭和四五年）、藤岡穰「興福寺南円堂四天王像と中金堂四天王像について」〔国華〕一一三七、一一三八、平成二年）、松島健「四天王立像」〔奈良六大寺大観〕一四（新補遺）岩波書店 平成四年）
- ④奈良市登大路町四八



13 千手観音立像(五〇七〜五一四号)(図8) 重要文化財 八幡

京都 妙法院

木造漆箔 像高一七四・八〜一八二・〇

(1)五〇七号

〔左足柄正面墨書〕

弁円

〔右足柄正面墨書〕

□円

〔台座框裏面墨書〕

九弁円(三箇所にあり)

〔光背八葉裏面刻銘〕

永

(2)五〇八号

〔左足柄外側墨書〕

□[※]検了

長快(花押)

〔左足柄正面墨書〕

大所二

〔台座中棧裏面墨書〕

大所二

(3)五〇九号

〔左足柄正面刻銘〕

周一

〔右足柄正面墨書〕

□一

〔台座反花裏面墨書〕

定賢

〔台座框裏面墨書〕

定賢

〔同〕 上あや(花押)

〔台座中棧裏面墨書〕

あやこうち(花押)

(4)五一〇号

〔左足柄正面墨書〕 大七十四

〔左足柄外側墨書〕 運慶

〔台座中棧裏面墨書〕 大七十四

(5)五一二号

〔左足柄外側墨書〕(判読不能)

(6)五一二号

〔左足柄正面墨書〕 大二

(7)五一三号

〔左足柄正面墨書〕 □[※]□

〔右足柄正面墨書〕 二円

〔台座框裏面墨書〕 八弁円

(8)五一四号

〔左足柄正面墨書〕 □円八

〔右足柄正面墨書〕 恵円八

〔台座中棧裏面墨書〕 恵円八

②(財)美術院 ③『^本蓮華王院 千躰千手観音像修理報告書』(妙法院、昭和三三年) ④京都市東山区大和大路通渋谷下ル妙法院前側町 ⑤符丁、数字のみの銘文については省略した。五一〇号左足柄正面墨書「運慶」については、『^本蓮華王院 千躰千手観音像修理報告書』では偽銘とする。

絵画

14 東陽英朝像 岐阜県指定文化財

岐阜 大仙寺 一幅

絹本着色 縦一〇七・〇 横四九・〇

〔軸木墨書〕

中しるし御璽 

寛永九年三月十六日 清蔵印

ひょうくや

浄   (花押)

①寛永九年(一六三二) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④岐阜県加茂郡八百津町

15 毛利輝元像

一幅

山口(財)防府毛利報公会

絹本着色 縦一一一・三 横五四・〇



〔軸木墨書〕

天保十二年丑二月

御修覆トシテ調上之

御表具師

中尾善五郎勝正

①天保十二年(二八四二) ②(株)宇佐美松鶴堂 ④山口県防府市 多々良一(一五一一)

工芸

16 厨子(図9)

奈良県指定文化財

一基

額安寺

木造黒漆塗 総高一九六・六

小壁板大輪大貫以下志万豊前守子息同

新左衛門為檀那人夫以下合力アリ同

六月三日作事始同十月三日柱立同

九日柱立畢又雖然祢多ほひき檀那

依無十一月中旬迄作事絶也爰

高屋石見守性楠朝臣信家祢多ほひきの

檀那として同十一月十九日敷板成就畢

同くきかすかいハ河嶋主計允檀那として

成就大工権守重家同子三郎左衛門尉

幸重二男又四郎同三郎左衛門尉子息

三郎二郎号同ちん立事二百余

人之作事也入仏者今月中以吉日定候云々

檀フウツスニ仍先書付候也

一衣之事一老重阿法眼寺二唯阿三眼阿

四無阿大依等五来六文阿七宜阿八尺阿御かき場主長阿かんしき

九宣阿十由阿十一力阿 十阿官料

以上十三人

尼寺之事

一住一房二順一三〇一〇圍一五米一

七縁仏八勢仏 以上八人末寺事

安養寺覚阿眼阿長阿円長寺重阿

順阿理阿宝蓮寺罔阿人阿罔円

他阿以上如此

為義有法名龍勝寺殿御北殿御建立

於末代彼御菩提奉可訪無沙汰儀当寺
退転始たるへく也

永正十年癸酉十一月十九日書之

中興開山当世九代其阿弥陀仏

〔厨子内陣底裏墨書〕

抑当寺由緒者丹後国法花宗門最初之

道場ナリ号法花堂妙隆寺開山者日養上人

甲陽身延山より帝都ニのほり其より当国ニ

□□□阿□阿□阿□阿□阿

□阿□阿金阿阿阿阿阿□阿智阿以十□人

尼衆

□一□一圍一□一圍一住一□一圍一

元一如一明一教一

團仏得仏玉仏ニ仏專仏□仏礼仏智仏

從仏勢仏能仏以廿二人

末寺衆

法雲寺裏阿与阿唯阿三人

大仏寺乘阿寿阿 二人

□養寺弥阿但阿持阿三人

□長寺眼阿

国蓮寺連阿以阿識阿三人

□闕寺也阿

本来ノ衆四十一人アリ

大工三良左衛門同子三良次良

御遊行 廿一代御時也

時ノ住持是ヲカクナリ

明応九年六月七日敬白

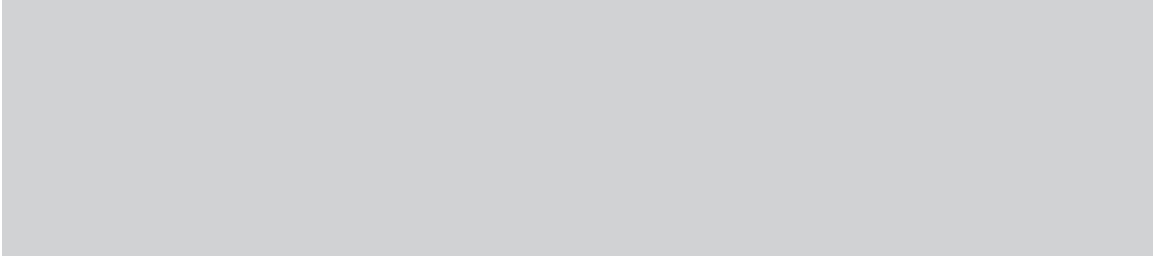
〔厨子裏屏風腰板（向って右）墨書〕

坊主ニ可キ遣ス機用ナシ

浦明ノ臨阿弥陀仏□□浦明ニ

留主ヲ定メ橋立ヘ罷リ通

橋立ニ住テ常ニ浦明ヘ罷越テ何



事モ見掟メ候ニテ子細ナリ云々

仰言アラハ即我々ニ与ヘ

可入院ス御□ヲ□□仍

同キ文和四圍三月十八日入

院ス天橋立道場其後幾

程ナクテ本ノ道場炎上ス矣

其後教□□ヲ割キ

今此七八五十六間道場ヲ

興行ス□□□□

事不可□□□□時守

護ハ仁木ノ□子也□□□□

成相寺□□□□□□

某ニ向テ云ク此道場ヲハ

今ヨリ後ハ我道場ニ成スヘ

シト云々其時ノ□□願主ハ專阿

延文三年戊戌七月十日

棟上棟木上ル也其阿

貞治三年十月廿三日

十八日□第九遊行ノ上人

御入之棟札ヲ申シ時上人

御入テ棟上ニスヘキ也某ニ申シ

付テ貞治三年甲辰十月

廿三日ト札ニ載給也矣

〔厨子裏屏風腰板（向って左）墨書〕

満福寺号ス天橋立道場本ハ毘沙門堂也

□□□□上人御所ニテ貞和

二年戌六月晦日□□中ヘ行

入申テ即□□往生□道場

来迎院□□客殿トシテ□□ニ□

食堂ハ西面ハ念珠屋也東面ハ

塗屋也鎮守ノ内ヲ念仏屋トス

往生院内未申ノ□□ハ御□□屋トス

縁ノ人々ハ大谷ノ坊中ヲ宿トス

其ノ時ノ国ノ守護ハ山名三河殿住吉

打死シ給守護代箕浦之

四郎左衛門尉法名俊阿即

満福寺大願主□□□□入

道行阿ヲ相語テ幽窓□□

時衆申□□上人□□

入院ス即蓮花□□□□

奉懸ケ想願十念□□

其ノ時坊主ハ臨阿弥□□□□□□

名字ヲ改メテ号ス師□□□□

衆二人一人ハ宿阿一人ハ□□□□

也入院ノ事忍ヒテ□□□□

他所ノ坊主ハ我ニハ□□□□

在家ハ守護代後阿定□□入道

等也其ノ時ノ道場ハ太子堂

東ノ脇水ノアル所ニ五間堂立

其ノ坊主師阿弥陀仏当所ニ

〔厨子裏屏風腰板(中央当板) 墨書〕

住スル事十年也貞和二年戌ヨリ文和四年二月十一日□□テ□□

年也同年二月十一日漆原ノ道場ニテ往生ス兼ヨリ□□□□

最後命仏御勸之由益アル故某姿浦明ヨリ漆原ヘ罷

越テ御遊行□□第八八日上也境節越後府ノ道

場ニ御当寺ヨリ坊主ノ所望スル時上人言ク遊

行ニハ今

〔須弥壇上框周縁上面墨書〕

①□□仏壇之下繪者□□ア法眼宗秀也上ノ□□イ

永徳三年癸亥五月八日安置仏壇□□ス

②子息民アコ法眼□□□□下向ノ此壇ヲサイシキ畢又

仏号十代□□□□□□

□□□□

③……沙門三尊アリ中尊者大……

④……同守護代大□□□□代……

⑤……念仏勸也……代□□申也

⑥……永徳三年……

⑦……門……

〔須弥壇上段線形周縁上面墨書〕

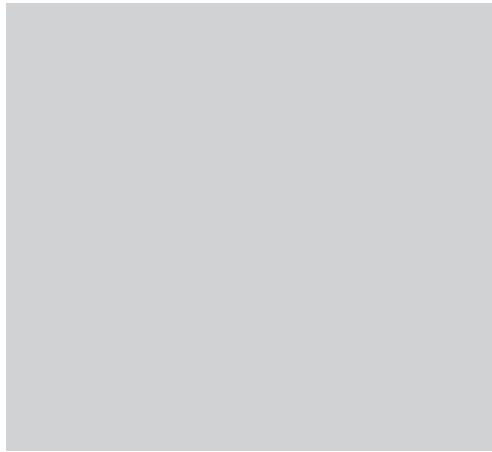
一守□□□□之事

最初□□□□

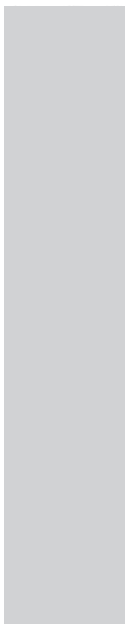
箕浦 □
 法名 □ 阿弥陀 □
 我 □ 明寺 □
 時故 □
 六 □
 仁木ノ □
 延文二年八月十六日
 ……
 但馬 □ □ 道場 □
 ……
 石河入道
 貞和元年九月
 □ 前温 □ 年
 ……
 □ 坊
 ……
 □ 三 □
 ……
 塗師 □
 勸進 □
 ……
 大 □
 内藤次 □
 ……
 □ 道 □

……
 □ 祿 □
 大願主頼 □
 同願専阿 □
 大工 □
 □ 左衛門尉土師貞次
 □ □ 衛門尉土師貞国 □ □ 也
 仏壇大工 □ □ 尉次 □
 同大工貞国
 同左衛門次郎
 同左衛門五郎
 十方壇那 □
 仏壇^ヲ塗^ル □ □
 壇那 □
 ……
 塗師 □
 同 □

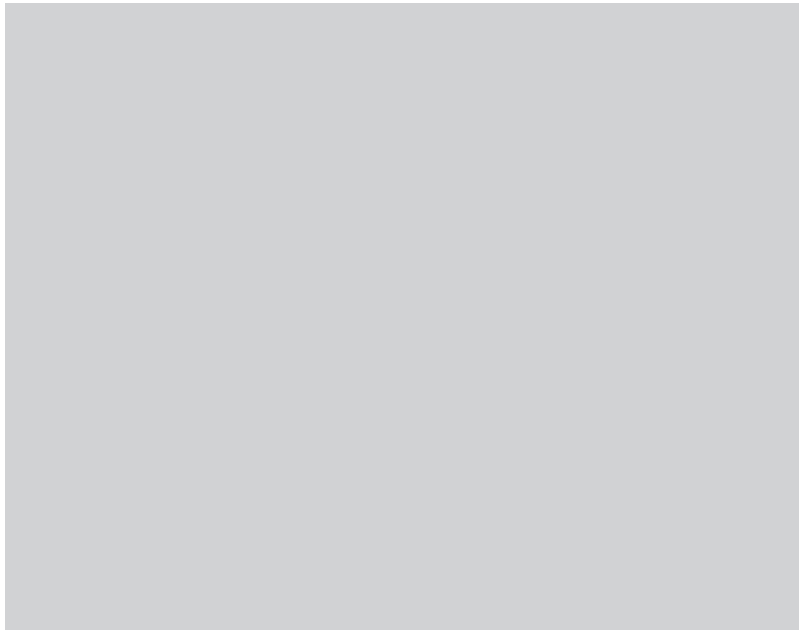
①貞和元年(一一三四五)・延文二年(一一三五七)・貞治三年(一一三六四)・
 永徳三年(一一三八三)・明応九年(一一五〇〇)・永正十年(一一五二二) ②
 (財)美術院 ③赤松俊秀「一遍の時宗に就て」(『史林』二九一、昭
 和十九年)、石川登志雄「中世丹後における時宗の展開」(『丹後郷土資
 料館報』六、昭和六十年) ④京都府宮津市字中野二六八



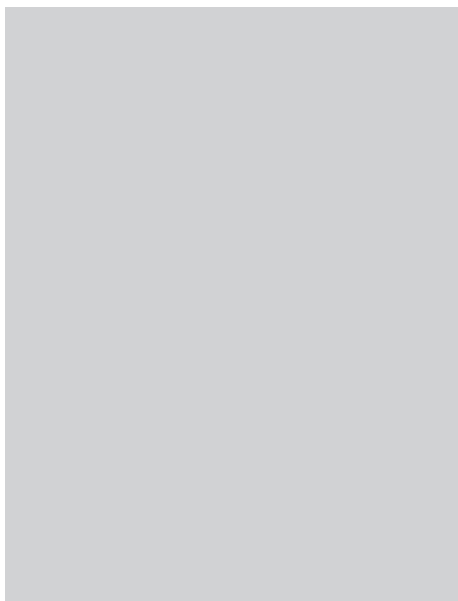
(下座下框上面)



(下座下框上段右侧补足材上面)



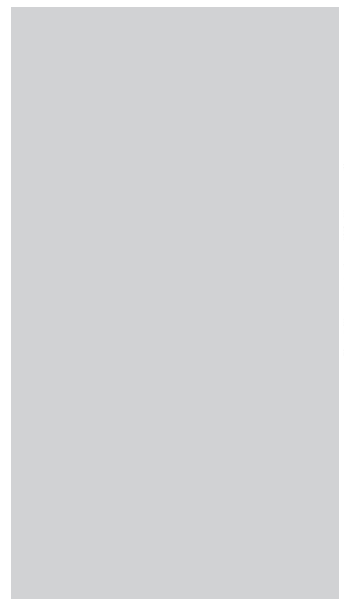
(上座鏡板右侧内面)



(下座下框上段左侧补足材下面)

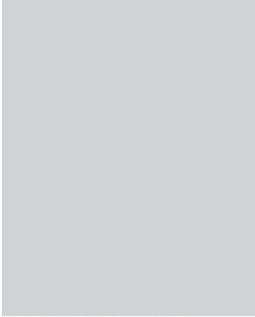


(下座下框上段右侧补足材下面)

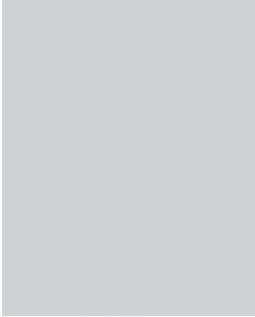


(下座下框上段左侧补足材上面)

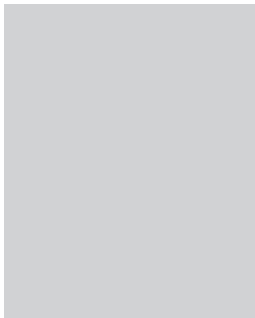
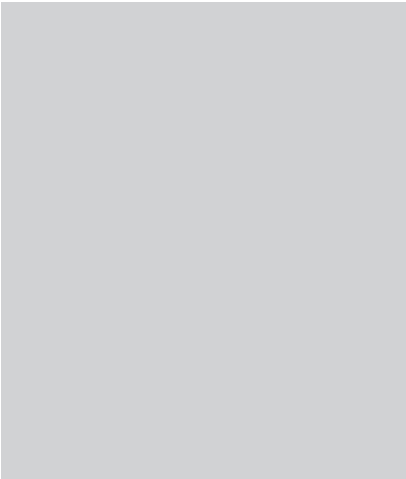
1 釈迦如来坐像台座 法隆寺



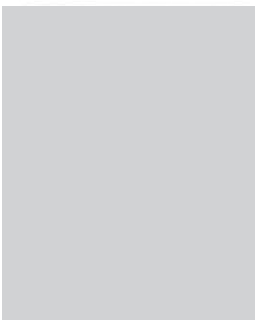
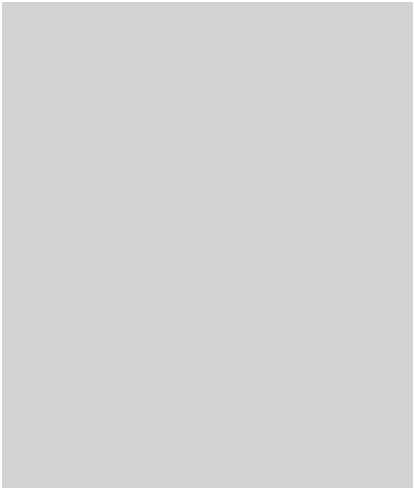
(新鳥蘇)



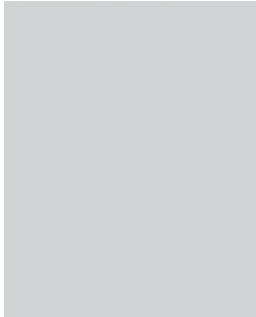
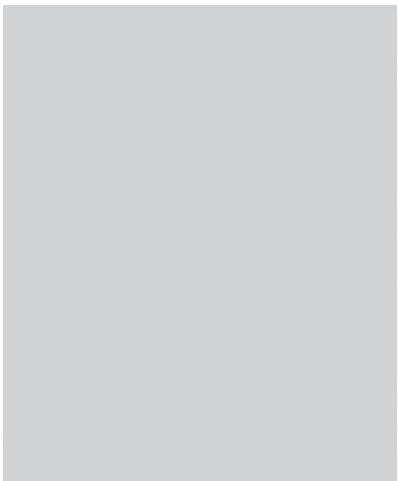
(皇仁庭)



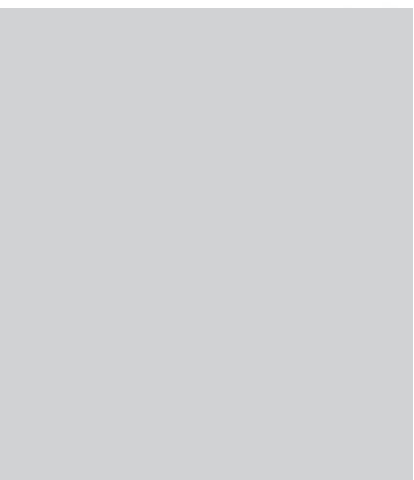
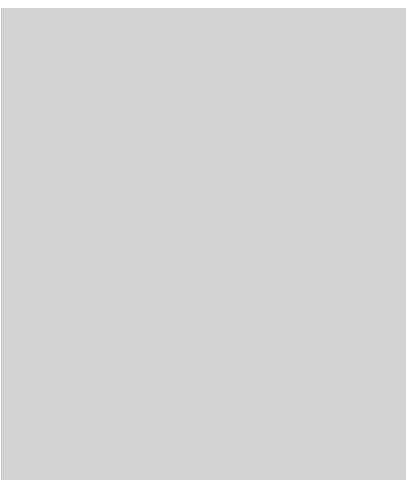
(地久)

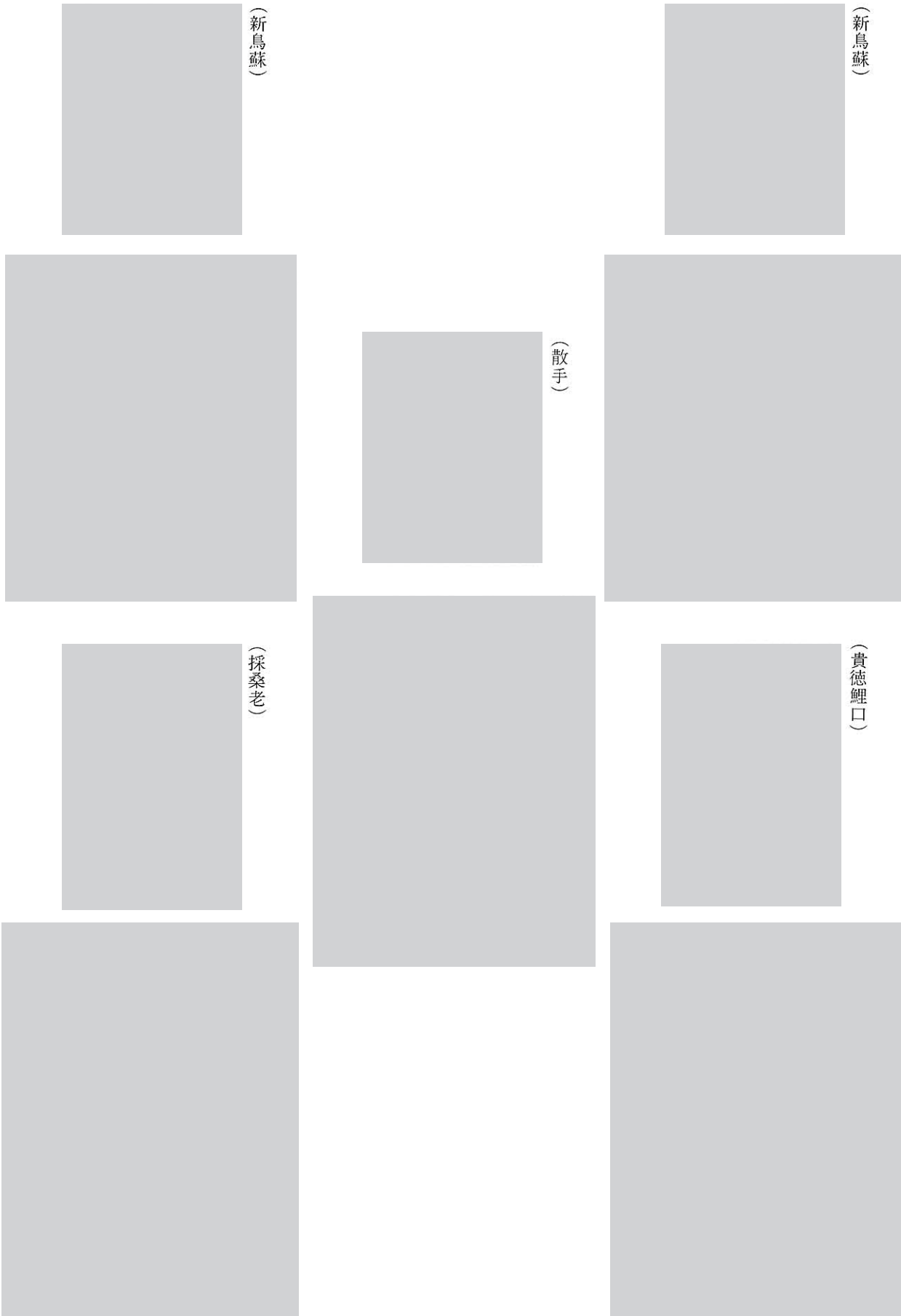


(新鳥蘇)

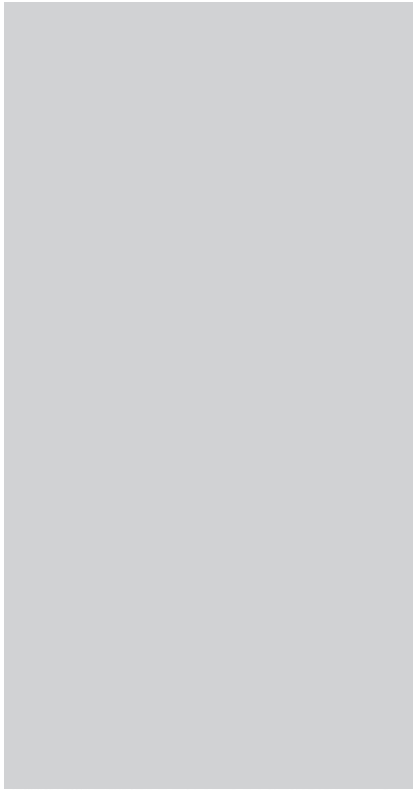


(崑崙八仙)

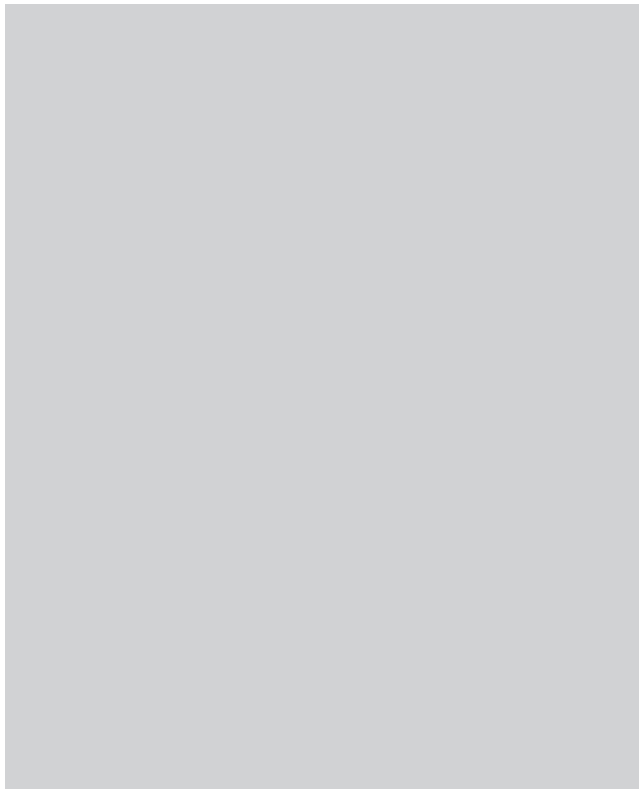
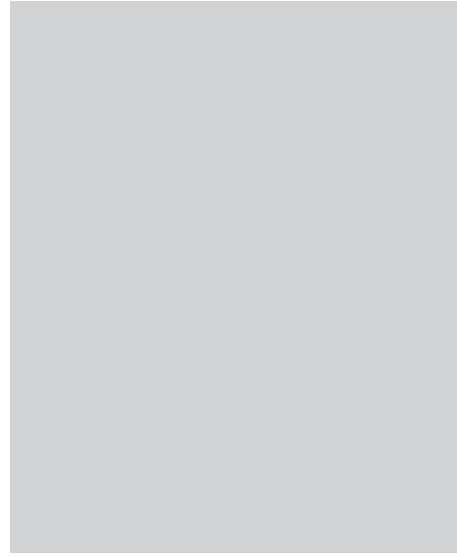




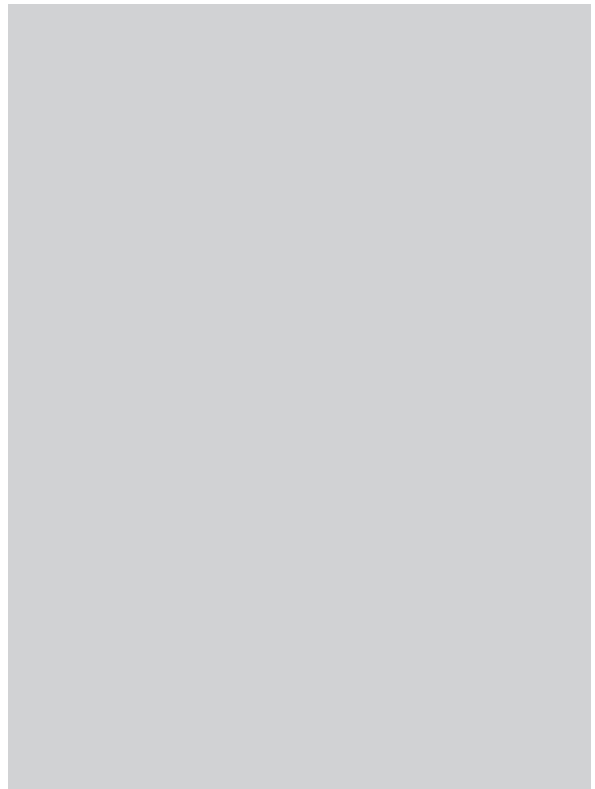
2 舞楽面 春日大社



(像内背部・①)

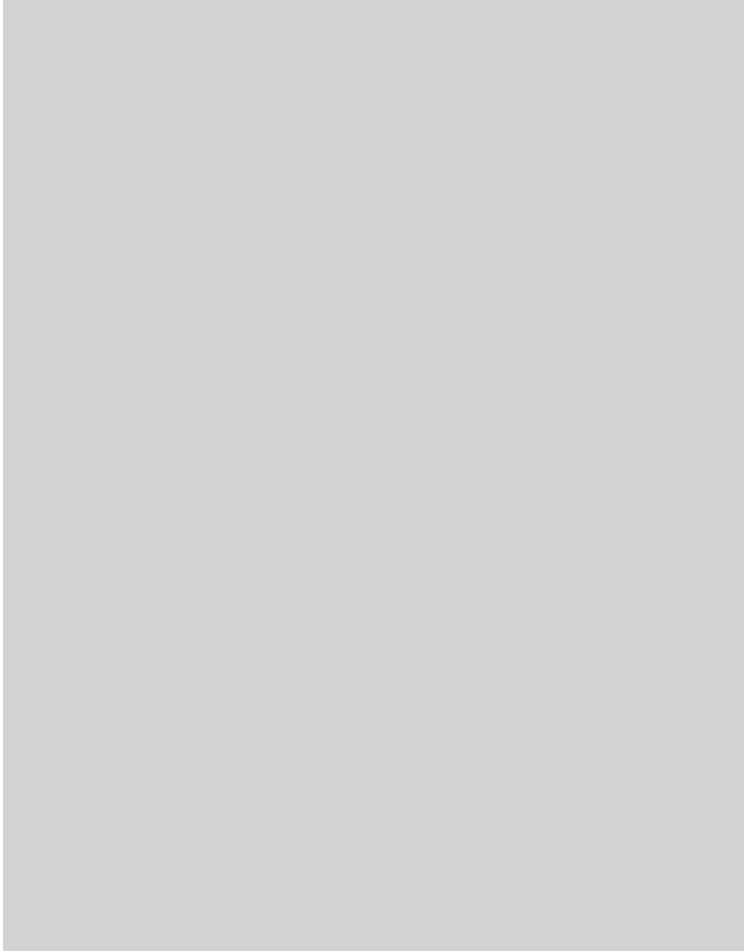


(像内背部・③)

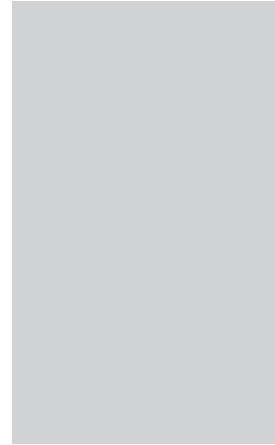


(像内背部・②)

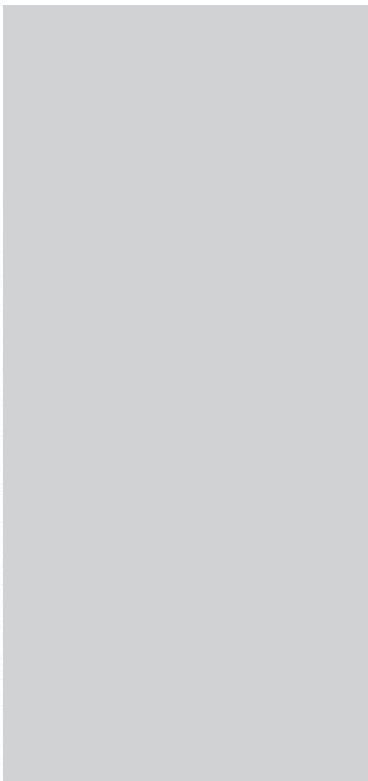
3 釈迦如来坐像 慈眼寺



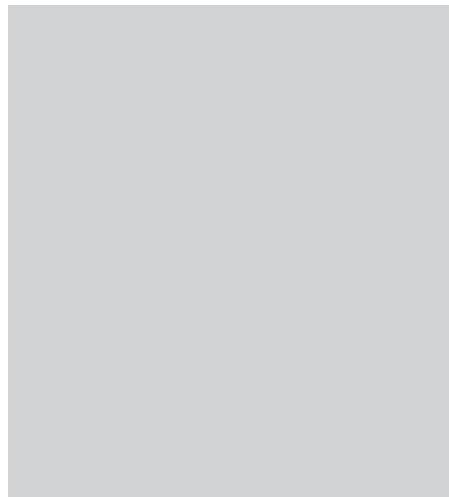
(像内脚部・①)



(像内右腰脇部)

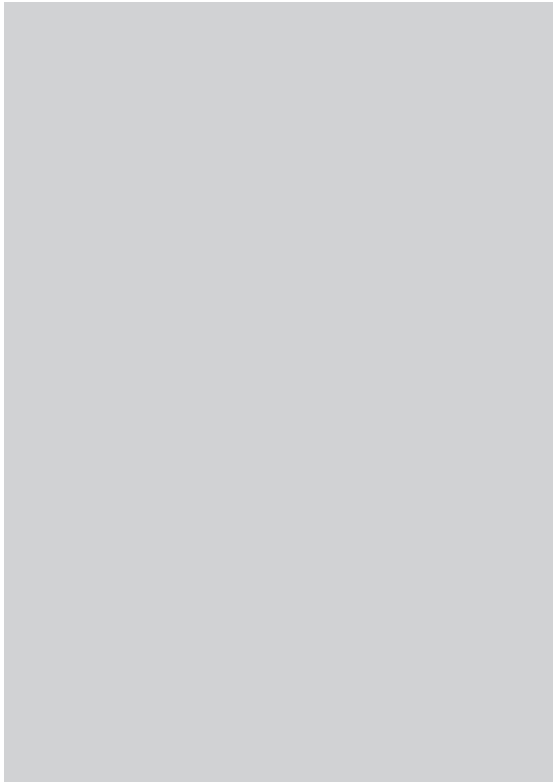


(像内脚部・②)

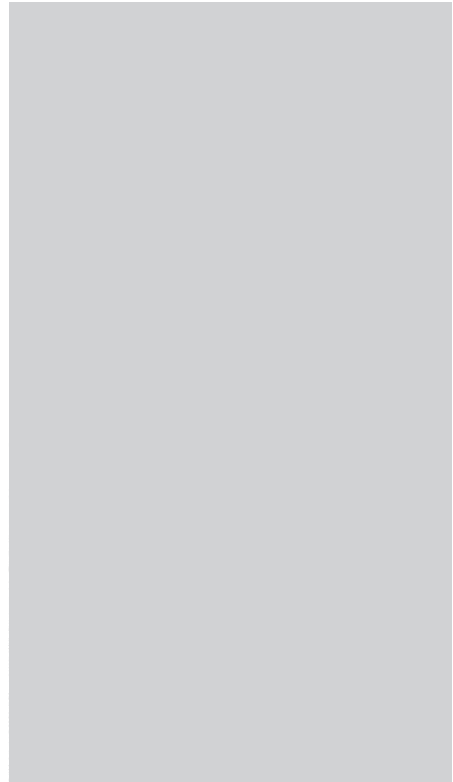


(像内左腰脇部)

3 釈迦如来坐像 慈眼寺

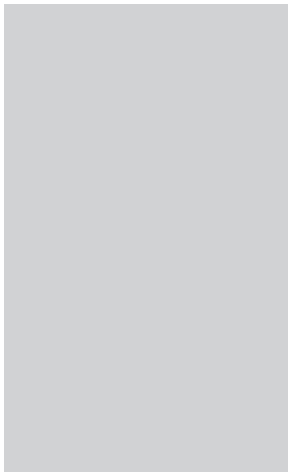


(像内腹部・②)

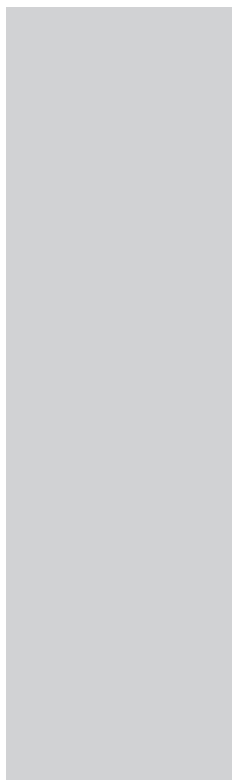


(像内腹部・①)

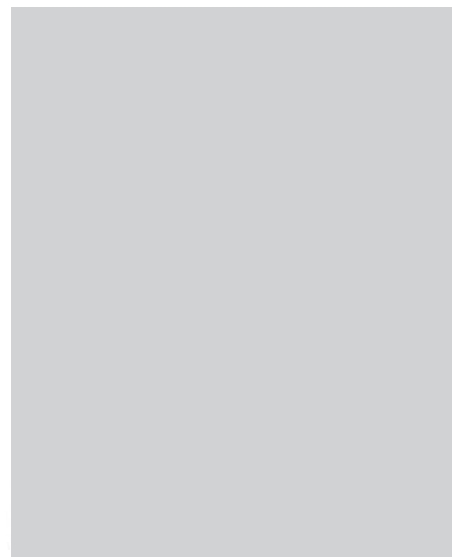
3 釈迦如来坐像 慈眼寺



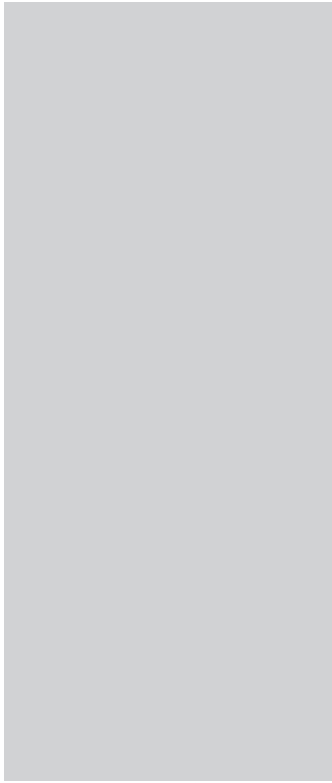
(像内左体側部)



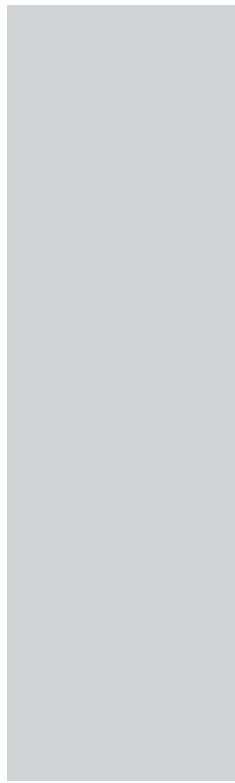
(像内脚部)



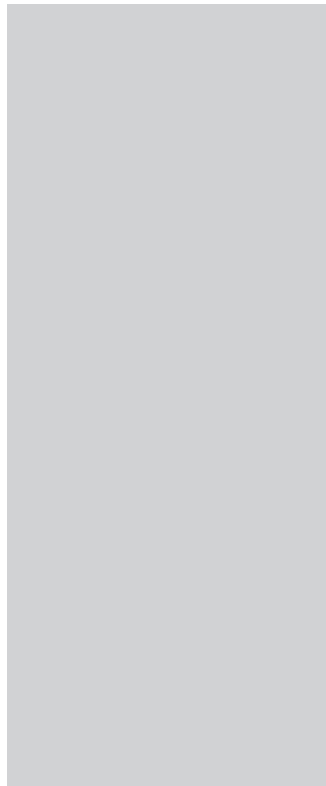
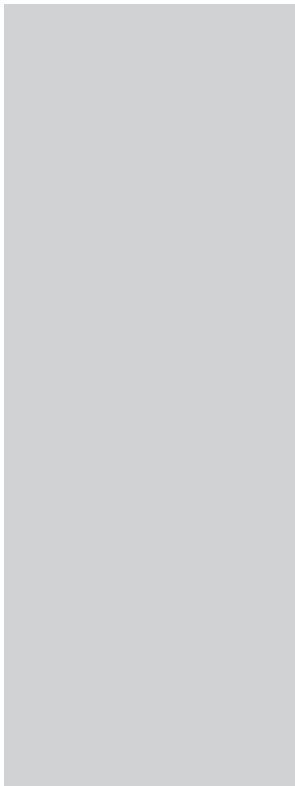
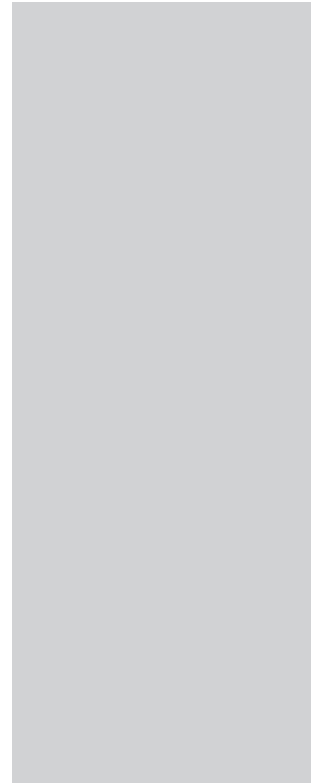
4 釈迦如来坐像 龍源院



(觀音・像内背面)



(觀音・像内前面)



(勢至・像内背面)

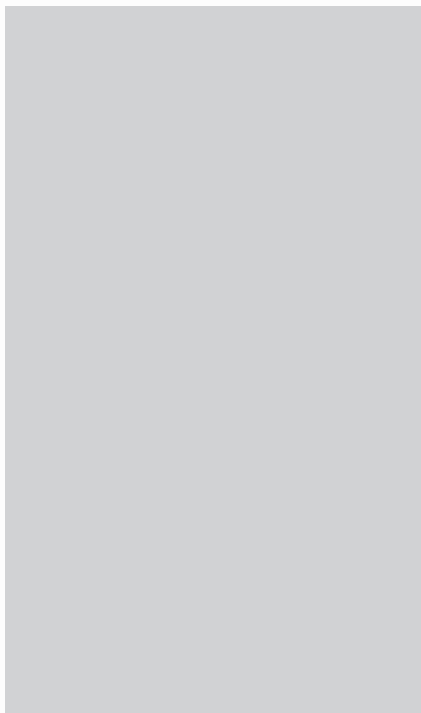
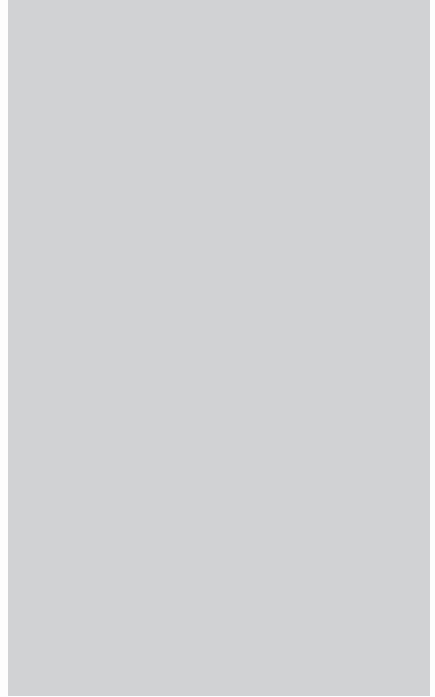


(勢至・像内前面)

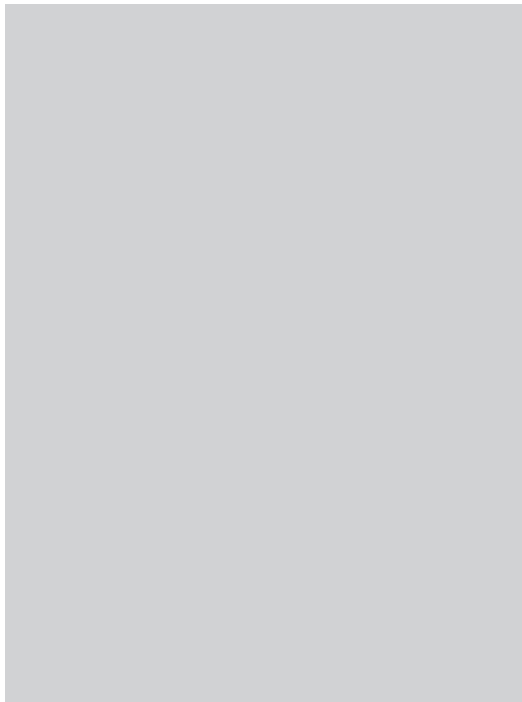
5 觀音・勢至菩薩立像 長隆寺



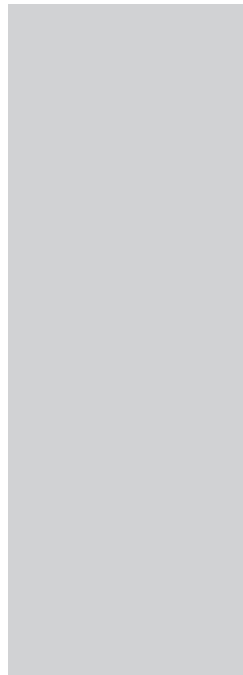
(阿形・像底)



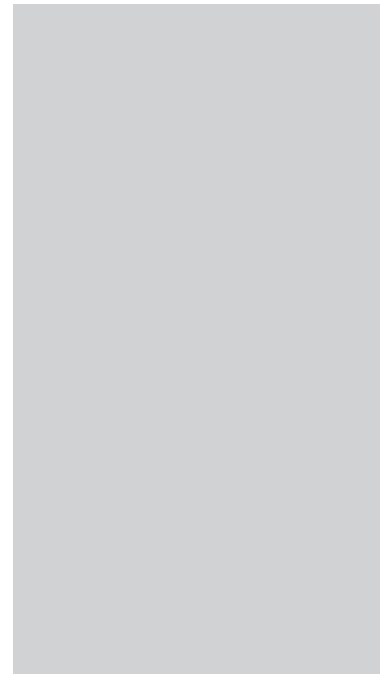
(吽形・像底)



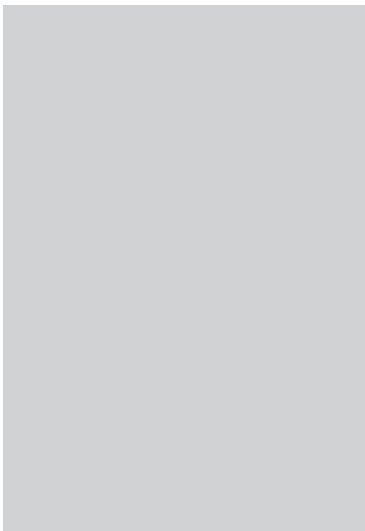
(同右周辺)



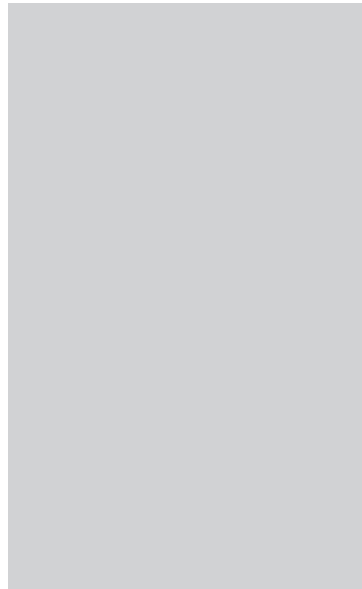
(台座榿天板上面)



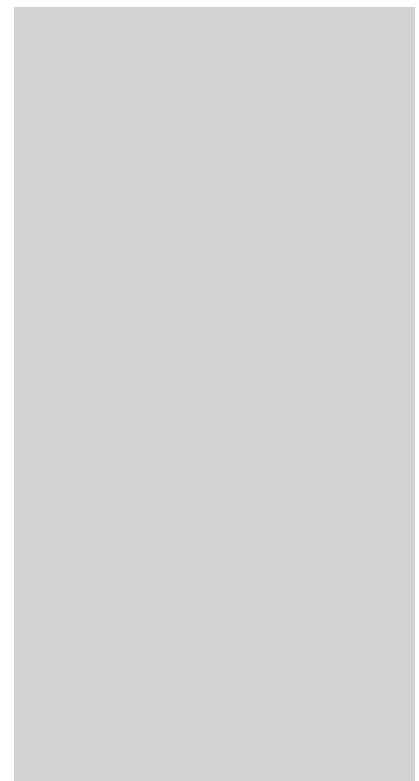
7 四天王立像（増長天） 興福寺



(右足柄正面)

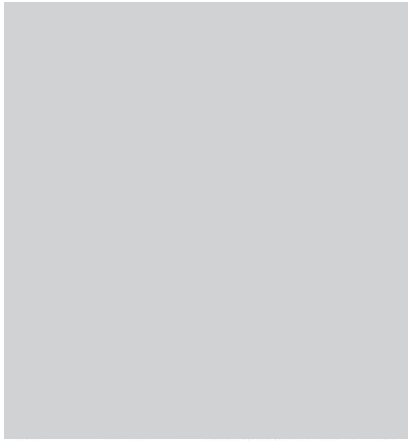


(左足柄正面)



(507号)

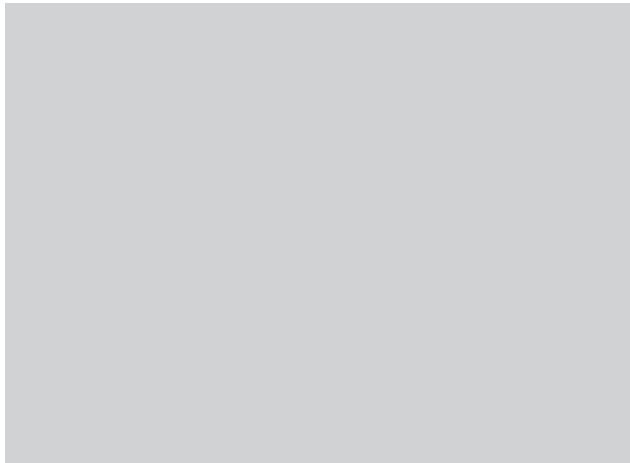
8 千手観音立像 妙法院



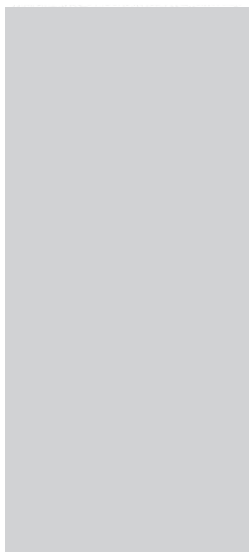
(光背八葉裏面)



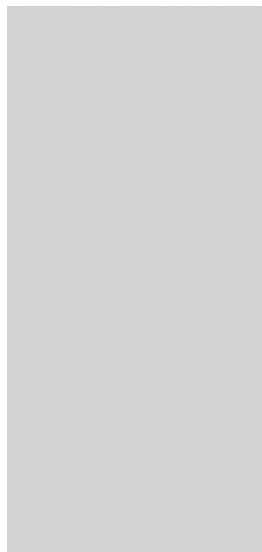
(台座框裏)



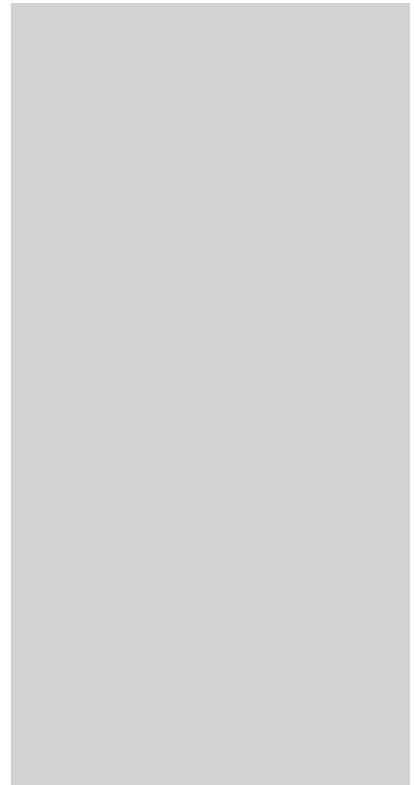
(左足柄外側)



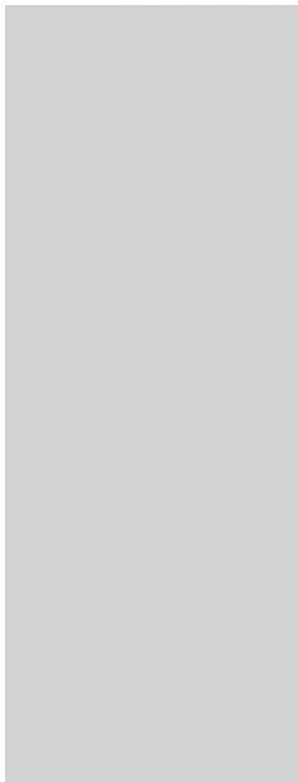
(台座中棧裏面)



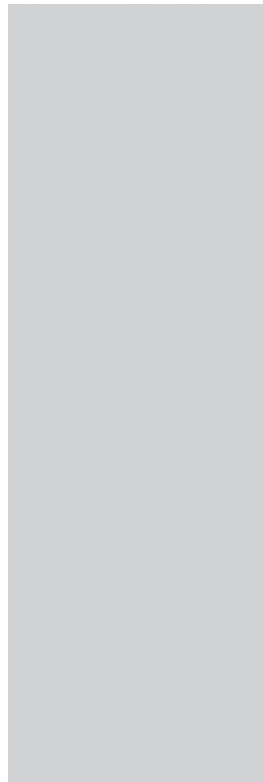
(左足柄正面)



(508号)



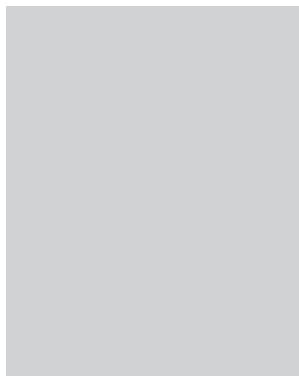
(右足柄正面)



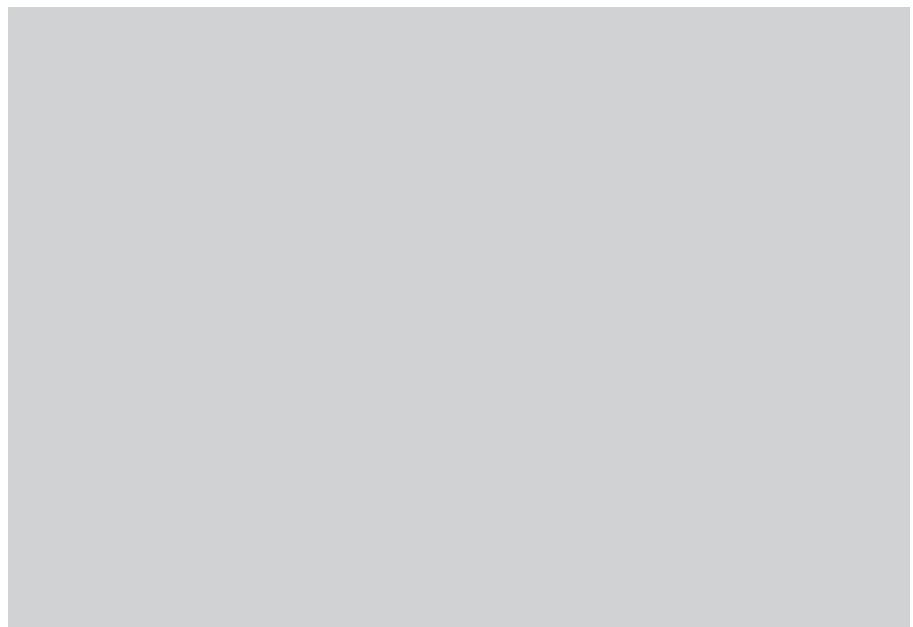
(左足柄正面)



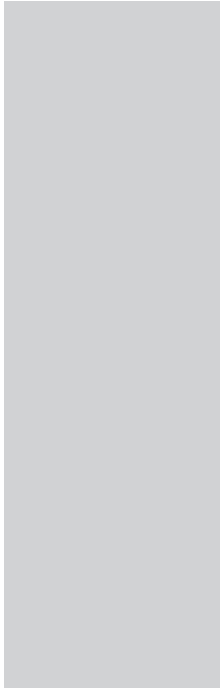
(509 号)



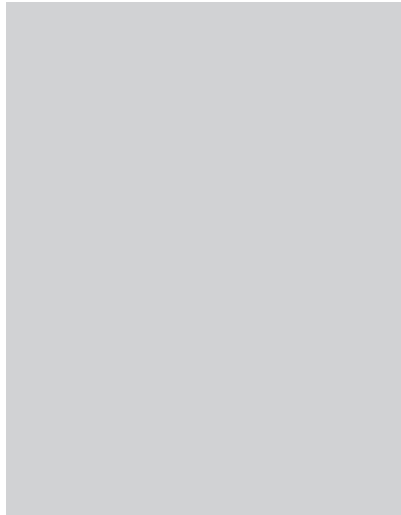
(台座反花裏面)



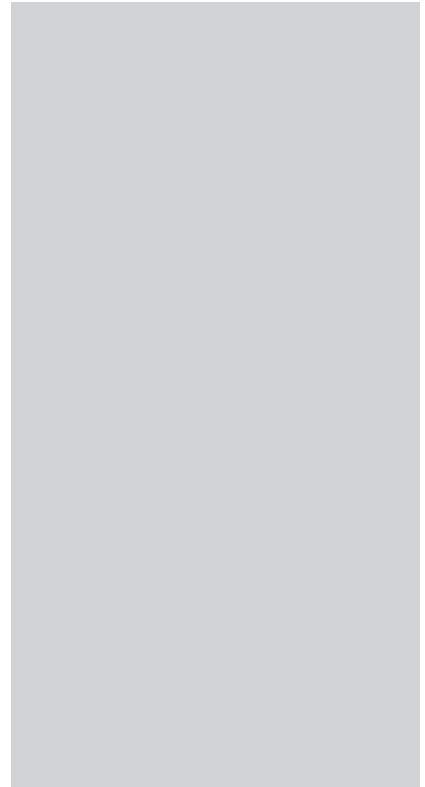
(台座框裏面)



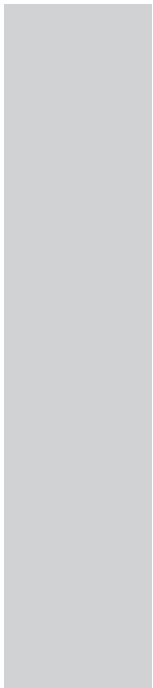
(左足柄正面)



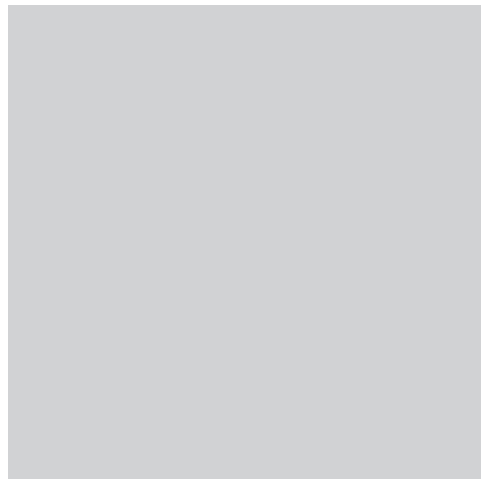
(左足柄外側)



(510 号)



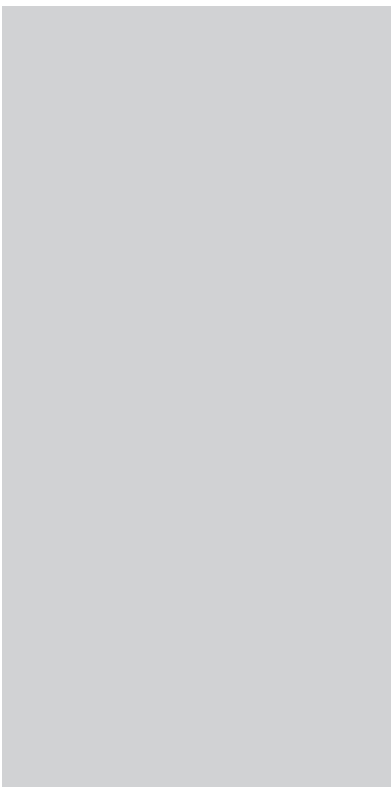
(台座中棧裏面)



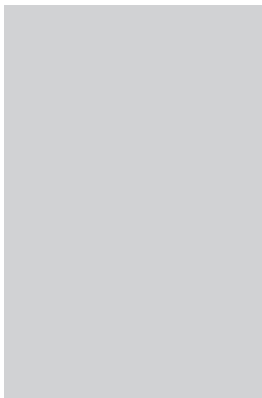
(左足柄外側)



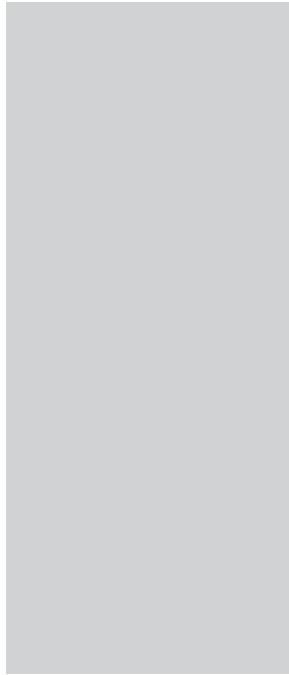
(511 号)



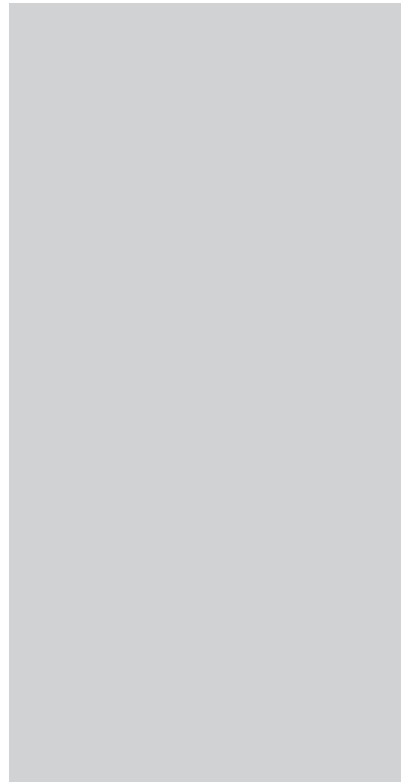
(513 号)



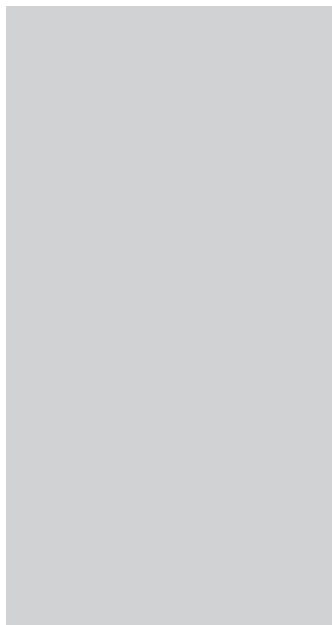
(台座框裏面)



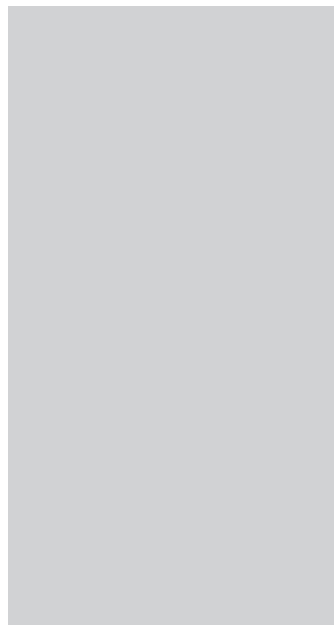
(左足柄正面)



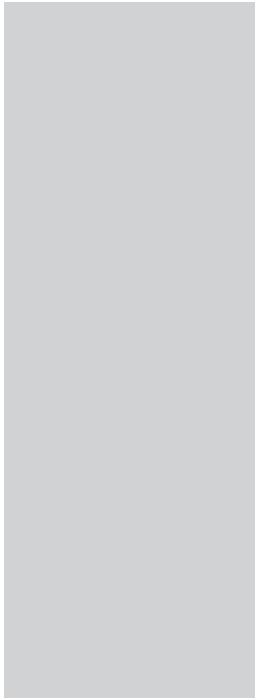
(512 号)



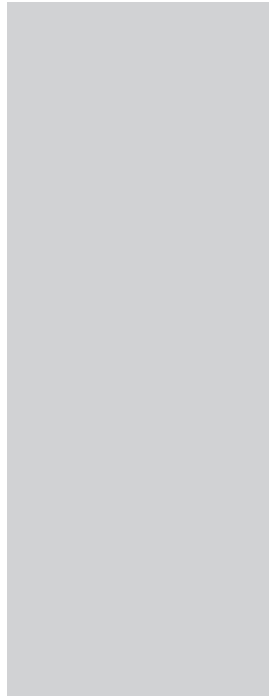
(右足柄正面)



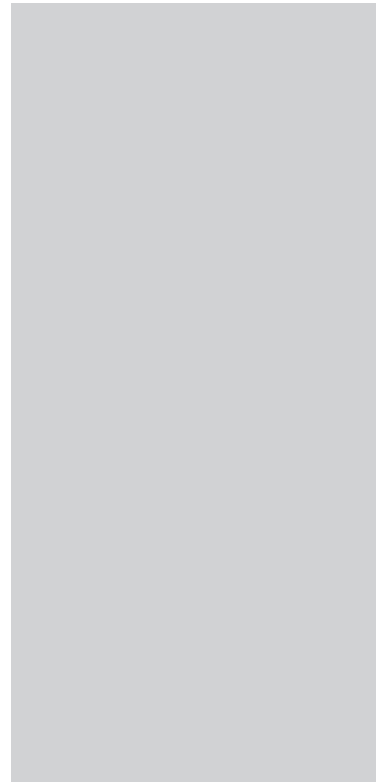
(左足柄正面)



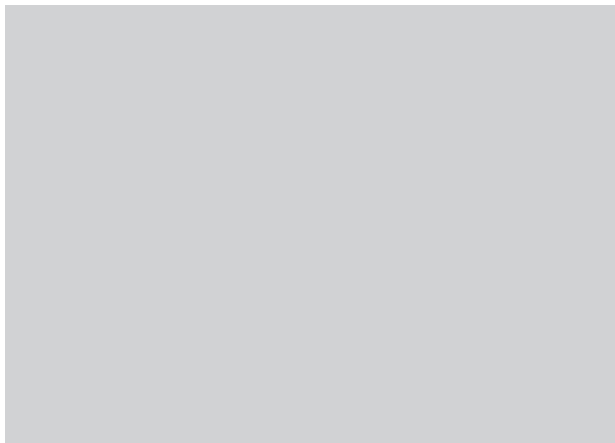
(右足柄正面)



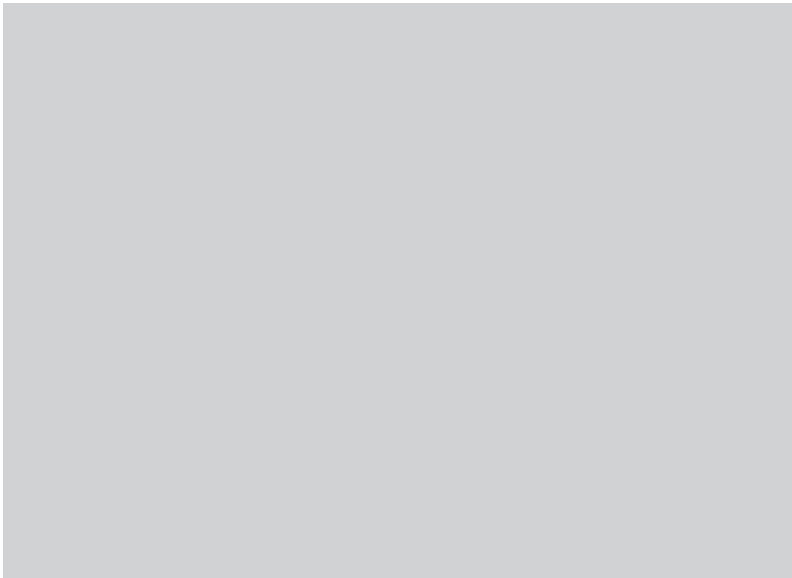
(左足柄正面)



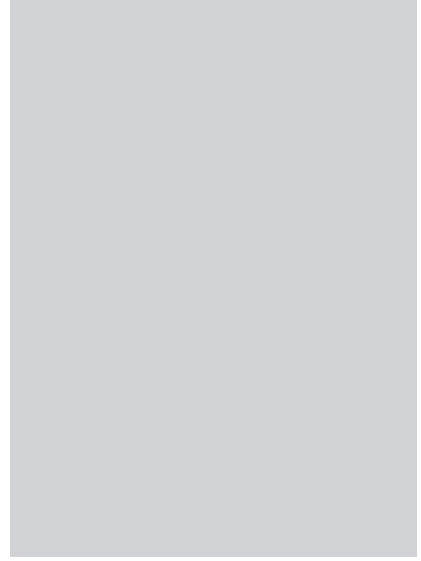
(514 号)



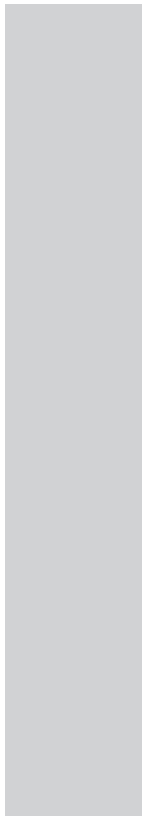
(台座中棧裏面)



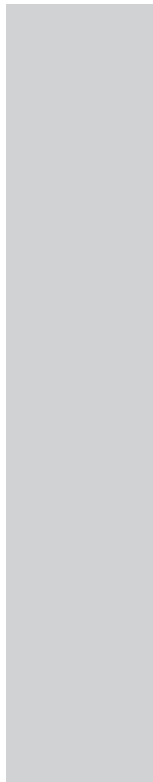
(基壇背面内側)



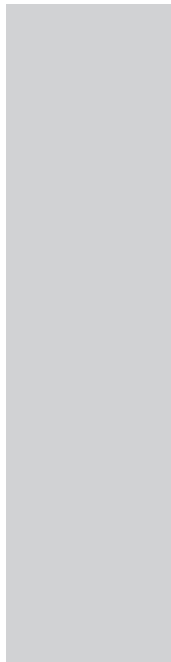
9 厨子 額安寺



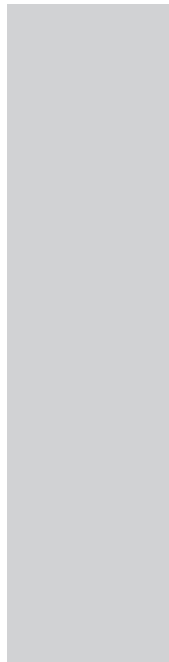
(同右)



(同右)



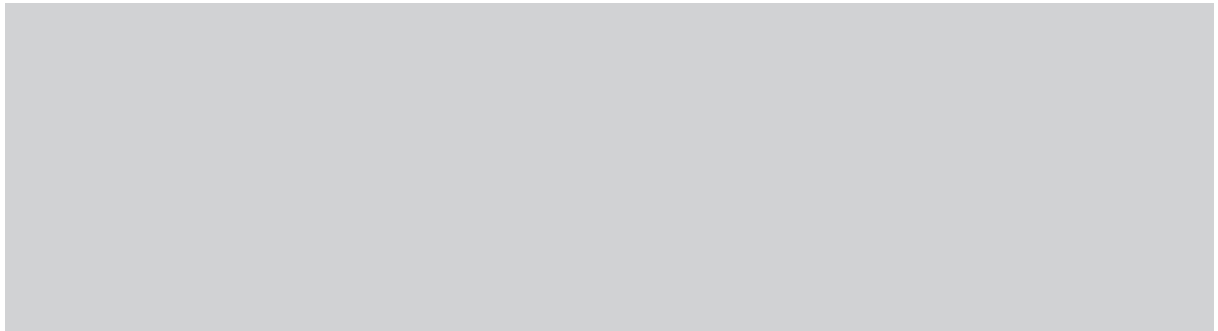
(同右)



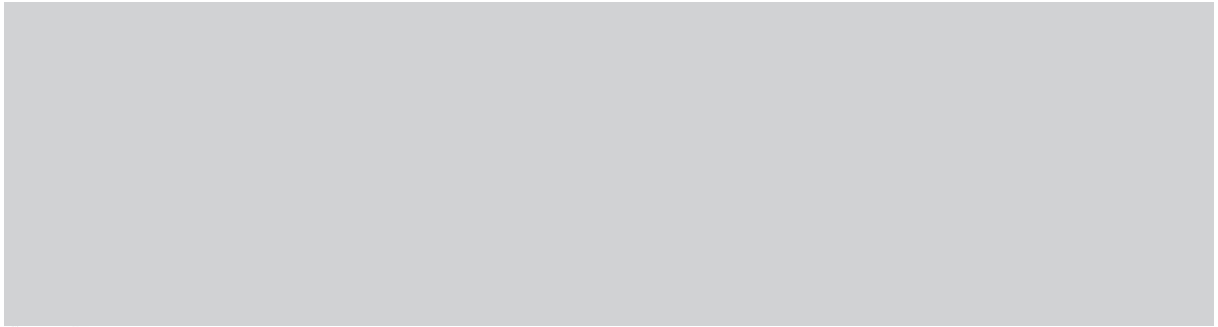
(須弥壇上框周縁上面)



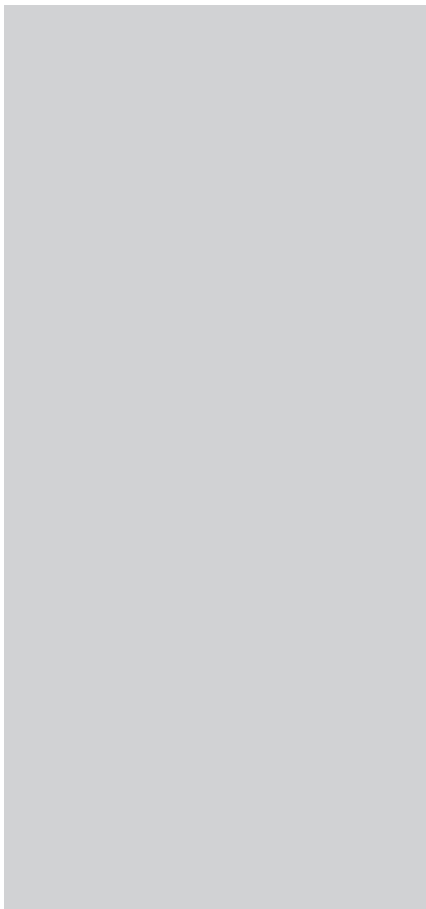
10 厨子 妙立寺



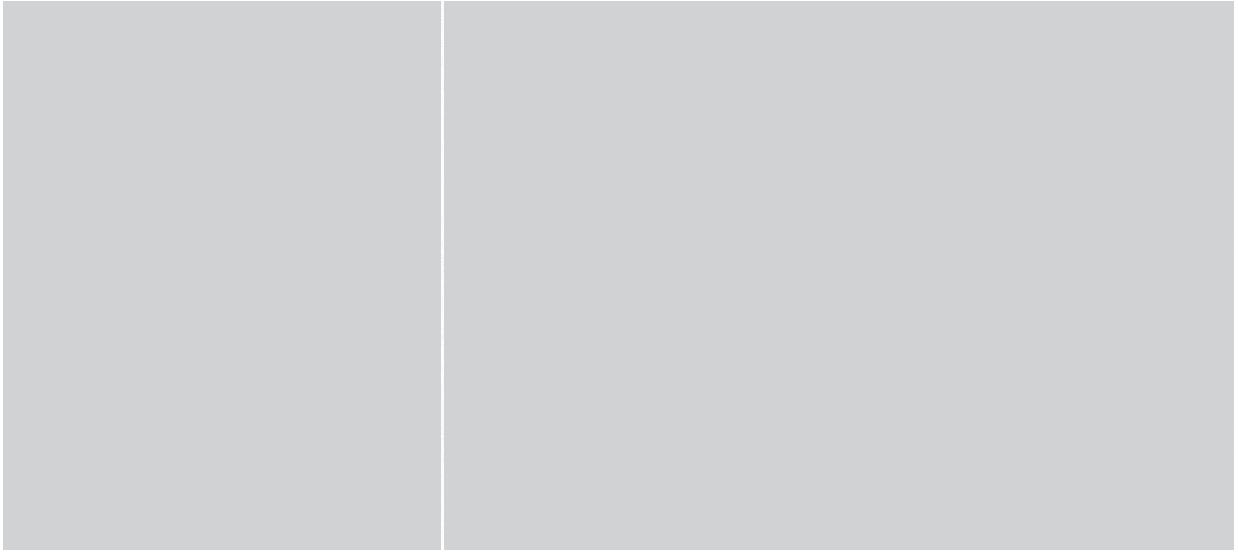
(厨子裏屏風腰板・向って右)



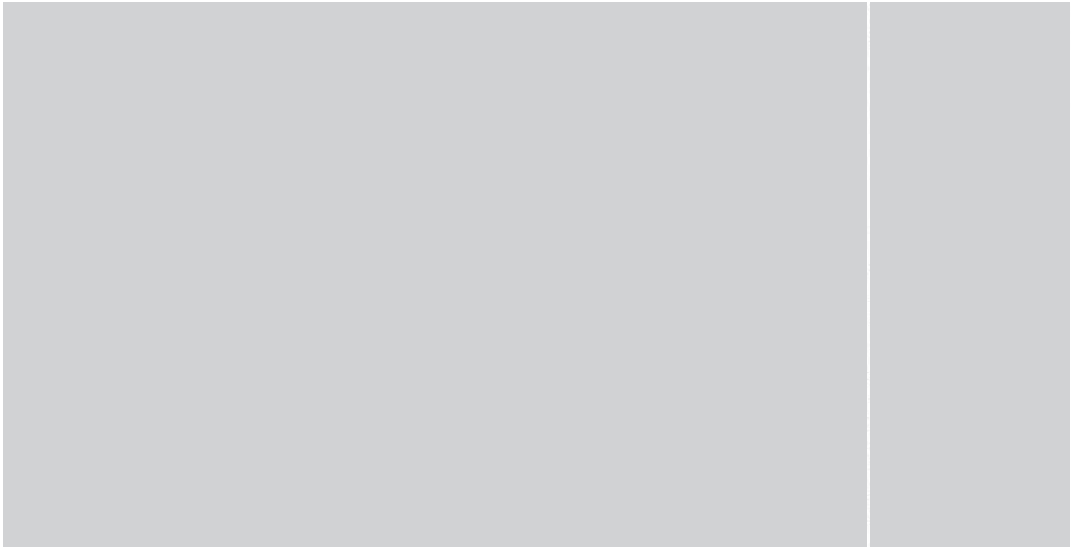
(厨子裏屏風腰板・向って左)



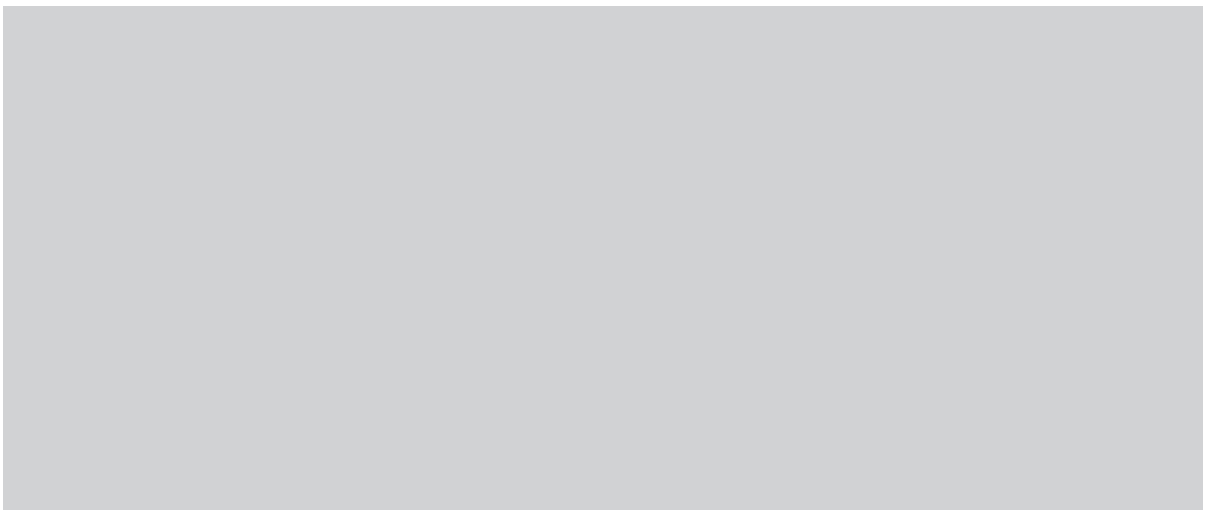
(厨子裏屏風腰板中央当板)



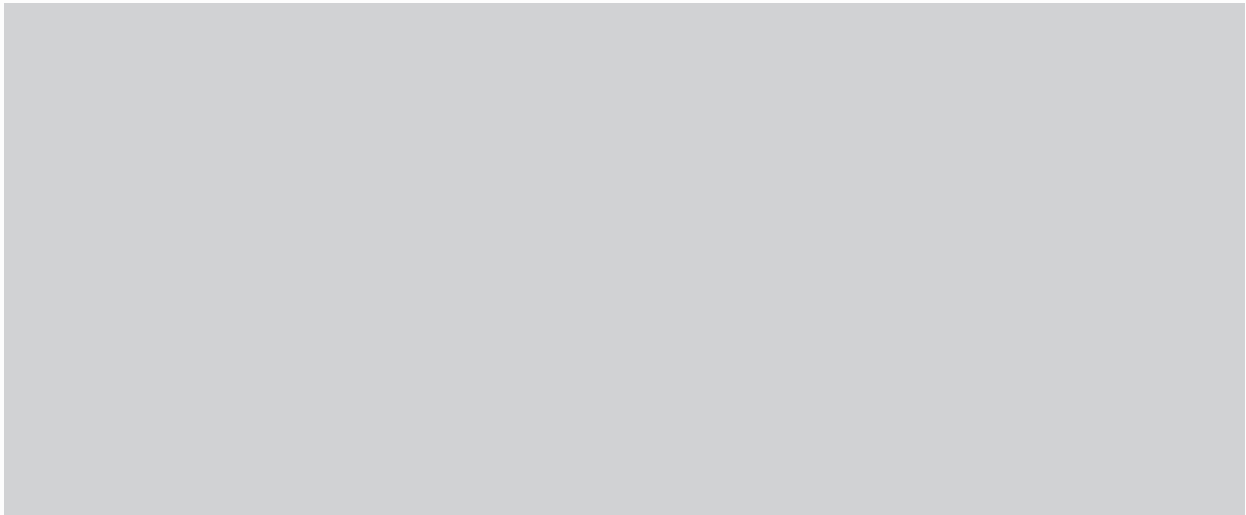
(須弥壇上段線形周縁上面)



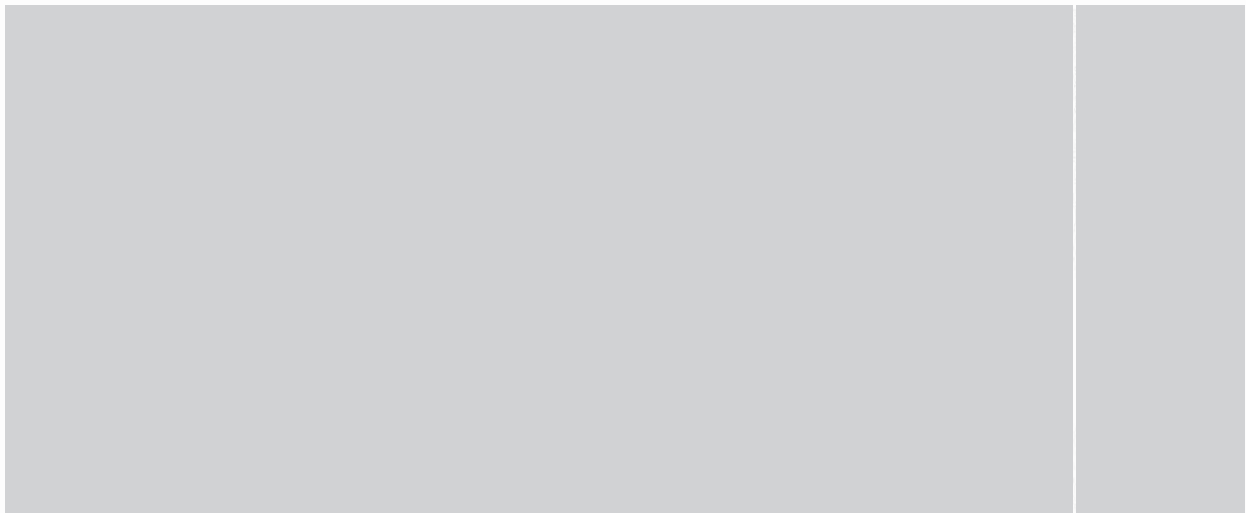
(同上)



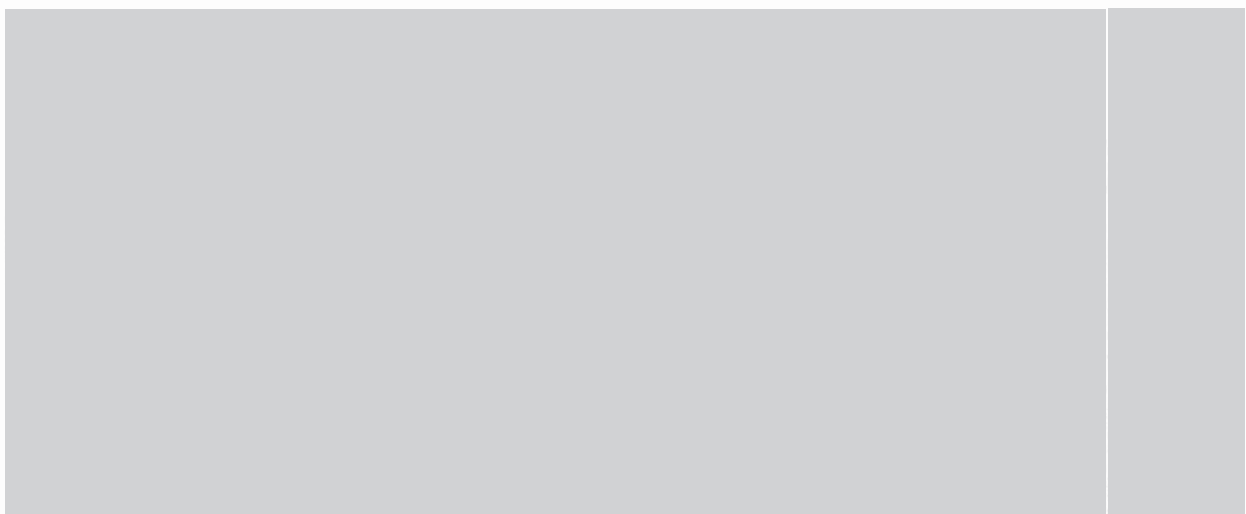
(同上)



(同上)



(同上)



(同上)